

入院診療計画書② 腹腔鏡手術（卵巣/卵管）術後4日目退院

1枚目（全2枚）

ID: 患者ID _____
 氏名: 氏名 _____

新規作成日: 新規作成日 _____

日付	1月1日	1月2日	
経過	手術1日前	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）
目標	不安の表出ができる 手術について理解できる	精神的準備ができている	疼痛のコントロールができている ドレーンに異常がない 排液に問題がない 合併症の症状・所見がない
注射		手術前に点滴2本と抗生剤1本行います	手術後に点滴4本と抗生剤1本を行います。
投薬	飲んでいるお薬があればお預かりし、薬剤師が確認後ご返却します。 下剤の内服があります。 ・酸化マグネシウム6錠分3（毎食後） ・センノシド [®] 2錠分1（夕食後） 持参薬は確認後いつものように内服してください。	内服は指定されたものだけ、少量の水で内服してください。	
検査			
処置	腹部～陰部の除毛、臍の汚れを除去します。	午前中から点滴を開始します。 朝8時半の手術は手術室へ行ってから点滴します。	帰室後は酸素マスクをします。
	身長・体重を測定します。	血栓予防に弾性ストッキングを着用します。	間歇的空気圧迫法 血栓予防のため足にマッサージ器を付けます。
食事	22時以降、絶食になります。	6時まで水またはお茶が摂取できます。	何も食べたり飲んだりできません。
清潔	除毛と臍処置が終わったら明日の手術に備えて、シャワー浴または体拭きで身体をきれいに洗ってください。	歯磨き、洗面を済ませてください。	
排泄		手術室で尿管を入れます。	尿管が入っています。尿量の確認をします。
活動	安静度 病棟内の歩行に制限はありません (検温や処置の時間は病室にいらしてください。)		ベッド上安静ですが、介助で体の向きを変えることができます。膝を立てると腰が楽になります。
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません	
看護ケア	検温（入院時・就寝前）	検温（起床時・出棟前）	検温（帰室後、30分後、1時間後、2時間後、3時間後、6時間後・就寝前）
確認事項	①手術同意書 ②輸血同意書 ③特定生物由来製剤同意書 ④麻酔同意書 の4点を確認します。	メガネやコンタクト、ネックレスや指輪など貴金属類と義歯や湿布などは全て外してください。	
指導	病棟オリエンテーションを行います。 手術前後の流れを説明し、入院診療計画書に同意を頂きます。 手術に必要な物品（T字帯、ナプキン、バスタオル、ゆかた、弾性ストッキング）を確認します。 緊急連絡先や既往歴などについて確認をします。	手術着に着替え、弾性ストッキングを着用してください。 ブラジャーや肌着はつけないでください。 ショーツは履いたままで構いません。 髪が長い場合は、飾りのないゴムで束ねてください。	
観察項目	性器出血、腹痛、腹部膨満感を観察します。		創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、呼吸苦、排ガスの有無を観察します。

入院診療計画書② 腹腔鏡手術（卵巣/卵管）術後4日目退院

2枚目（全2枚）

ID: 患者ID _____

新規作成日: 新規作成日 _____

氏名: 氏名 _____

日付	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	
経過	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	
目標	疼痛のコントロールができています		治療について理解できる		
	ドレーンに異常がない 排液に問題がない				
	排尿状態に問題がない	排便のコントロールができています			
	離床ができる 消化管の症状・所見がない	ADLの範囲の拡大ができる			
注射	点滴2本があります。終わったら抜針します。				
投薬	痛み止めの内服が始まります。術前から飲んでいただいていたお薬は、確認してから内服再開してください。				
検査	朝に採血があります。				
処置	酸素マスクは状態が良ければ外します。		退院診察があります。		
	弾性ストッキングは初回歩行後に外します。				
	間歇的空気圧迫法 初回歩行後に外します。				
	医師の回診で創部のチェックを行いません。				
	付き添いのもと初回歩行を行い、問題がなければ尿の管を抜きます。	腹部に入っている管を抜きます。 背中に痛み止めの管を入れている場合は抜きます。			
食事	昼から5分粥の食事が開始となります。夕方からは全粥となります。	朝以降常食が出ます。			
清潔	体拭き・着替えを介助しながら行います。	体に入っている管が抜ければシャワー浴ができます。管が入っていれば体拭きをお手伝いします。		退院後はシャワー浴ができます。お傷はお顔を洗うように優しく泡で洗ってください。感染予防の為に清潔にすることは一番大切なことです。次回の外来までは湯船につからないでください。	
排泄	尿の管を抜いて最初の排尿があったら看護師にお知らせください。	術後は腸の動きが弱く便秘しやすいため、水分摂取を心がけ、少しずつ身体を動かしましょう。		退院後も水分摂取に心がけ、少しずつ身体を動かしながら、便秘ENTに注意していきましょう。	
活動	安静度	病棟内の歩行ができるようになります。少しずつ歩く機会を増やしましょう。	病棟内は自由に歩行できます。なるべく体を動かしましょう。		
	リハビリ	リハビリテーションの予定はありません			
看護ケア	検温（起床時、午前、午後、就寝前）			検温（起床時）	
確認事項					
指導	早期離床は術後の回復を助けます。痛み止めを使用して体を動かしていきましょう。	退院後の生活上の注意点についてパンフレットを用いて説明いたします。		10時前後に退院会計の連絡が来ますのでお部屋でお待ちください。お預かりしているお薬や退院処方、退院会計が済んでからお渡し致します。すべてが終了したらネームバンドを切ってもらってからご帰宅ください。	
観察項目	創出血、性器出血、嘔気、嘔吐、頭痛、創痛（10段階のペインスコア）、呼吸苦、排ガスの有無を観察します。				